



探究ニュース Access No.1

発行日 令和元年5月14日

目次：

| | |
|-------------------------------|-----|
| 探究オリエンテーション | I |
| 哲学対話 | II |
| ジグソー法 | III |
| 概念マップ&トライアングル ディベート | IV |
| 図書館オリエンテーション & オンライン学習システム | V |

I. 探究オリエンテーション

今年度も探究ニュースを発行致します。よろしくお願い致します。

44期生から探究係が創設され、各クラスから2名選出されています。探究基礎をはじめ本校の探究活動を運営していく上で、重要な役割を担う生徒たちです(多少忙しくなってしまうかもしれませんが…)。また、探究ニュース編集部の生徒が探究活動を通して学んだことや活動の様子をまとめてくれています。Voiceをご覧ください。

本日は、4月11日・12日に行われた探究オリエンテーションについて紹介致します。探究オリエンテーションの目的は、探究活動の目的や考え方、「問い」を出すことや自ら学びを深めるための技を身に付けることにあります。以下、探究オリエンテーションの概要、探究ニュース編集部による感想(Voice)と振り返りアンケートの一部を紹介致します。



II. 哲学対話

※八王子東サポータズクラブに御支援頂きました。

(協力：東京大学哲学研究室)

「問い出し」や質問の練習

1. 質問ゲーム

- ① 4～5人のグループを組む。
- ② 「1日で1番好きな時間はいつですか」という問いに、1人が答える。残りの人は2分間、質問し続ける。

何を言ってもいいが、人を否定するような発言はしない。聞いているだけでもいい。
※各グループに教員及び大学院生が最低1名

2. 哲学対話

- ① 15～16名のグループを組む。
- ② 一人一人が「問い」を紙に書いて発表する。
- ③ 全員が発表し終わったら、投票で対話するテーマを決定。
- ④ 対話を行う(約50分)。ルールは、コミュニティボール(毛玉のようなもの)を持っている人だけが発言。発言する人はボールをもらう。

<Voice>

私たちは、この時間を通して普段は全く考えないような事柄について話し合い、深め合い、そして人の意見を聞くことの大切さを学びました。話を聞くことで、テーマに対して人の意見から新たなアイデアが浮かんだり、違う視点から物事見れたり、さらには自らの探究心をそそるようなアイデアも持てました。なんでも発言して良く、発言をしなくても良いと言う点から個人個人が気軽に話し合いに参加でき、今後の探究活動に活かせる活動になったと思います。

ハイライト：

- 探究的な学習の足場作り
- 「問い」をだすとは？
- 自ら「学びを深める」方法を身につけよう！

III. ジグソー法の体験

①3～4人のグループを作り、「文化祭クラス参加で何をするか」について、班の4人がそれぞれA演劇、Bお化け屋敷、C飲食、D縁日に分かれる。自分の分担のアピールポイントを考えておき、4人で話し合う。

②エキスパートチームを組み、話し合い、さらに分担している内容について深める。

③元の班に戻り、それぞれの担当を踏まえて再度話し合う。

〈Voice〉

1人では思いつかなかったアイデアをエキスパートチームの仲間から得た上で、元の班からさらに新たな視点を獲得することが出来た。2回目の元のチームでの話し合いは初めに比べて活発に行われ、自分の意見や班全体での話が深まっていくのを感じた。同じテーマをもつ人、違うテーマをもつ人とメンバーを変えて自分の意見を説明し話し合うことで、多様な視点から物事を考えることができたと思う。今後の学校生活や探究活動で、広い視野をもって学びを深めていくためにこの方法を生かしていきたい。



IV. 概念マップ & トライアングルディベート

① 概念マップ（中心にテーマ「防犯カメラ」を書き、そこから発想したことを枝のように伸ばしていく）を作成する。作成後、3人グループで作成した概念マップを回覧し、他者や自分の枝をさらに広げる。

② 3人グループになる。AさんがBさんにテーマに反対する意見を1分間話し、次にBさんはAさんに1分間質問し続ける。それを賛成・反対の意見を入れ替えながらAさん～Cさんそれぞれで行う。

〈Voice〉

「防犯カメラ」をテーマとし、初めて概念マップの作成をした。連想ゲームの考え方でやってみて、例えば「防犯カメラ」から「カメラ」「防犯」など、様々な枝分かれができて、良かった。また、概念マップは様々な見方もできるから、今後の探究や生活にも活用してみたい。

- ✓ 思考を広げる
- ✓ 意外な結びつきに気づく・深める
- ✓ 根拠をもとに説明する
- ✓ メディアリテラシーを身につける

V. 図書館オリエンテーション & オンライン学習システム

① 図書館の利用方法、文献検索の方法

② オンライン学習システムの機能や使い方についての説明。

〈Voice〉

今回のオリエンテーションで、改めて本の偉大さに気づくことができました。私は調べものをするとき、何でもかんでもインターネットを利用していました。しかし、司書の先生がおっしゃるとおり、インターネットの情報は出所も筆者も分かりません。これは当たり前のことですが、分かっているようで私は忘れていました。これに対して本は出所も筆者も、そして書かれた年代も明確に記されています。オリエンテーションで学んだこれらのことを頭に入れ、調べものをするときは本とインターネットのメリット・デメリットをよく考え、どちらを利用するか見極めるようにしたいです。そして、正しい情報からなる探究活動ができるようにしたいです。

私たちオンライン学習システムを初めて使いました。そこで使い方をしっかり覚えて今は有効活用しています。例えば、新着メッセージがあったら必ず見て、アンケートなどがあればそれに答えています。そのあとには、「見ました」ボタンを押すようにしています。中学校ではこのようなことはなかったので新鮮な感覚です。これからも積極的に利用していきたいと思っています。